

NEWS

新入社員 安全衛生教育・研修会開催

- ・日 時：9月2日（水） 午後1時30分
- ・場 所：協会3階会議室（名古屋市中区）
- ・出席者：14名

（新型コロナウイルス感染防止のため通常定員の半数）

安全衛生委員会（委員長 伊藤泰雄氏）では、職場における安全衛生水準の向上、労働災害のより一層の減少を図るため、新入社員（概ね入社後3年以内）の「安全衛生教育・研修会」を開催しました。

開会の挨拶で安全衛生委員長 伊藤泰雄氏は、「当業界は愛知県のみならず全国的にも多くの労働災害が発生しており、いかにゼロに近づけるかということに力を注いでおります。事故は誰もが起こしたくて起こるものではありませんが、ちょっとした気の緩みから起きてしまいます。

私は安全の基本は“あいさつ”だと思います。『安全はあいさつから』ともいわれ、社内におけるコミュニケーションの第一歩であり、円滑に業務を遂行するための最初の扉です。まず、明日から皆さんから率先して“あいさつ”を行い、本日の研修内容を現場にて実践し、労働災害事故ゼロを目指してください。」と述べました。



講師の加山興業（株）
柏原シニアマネージャー

研修Ⅰでは、安全衛生委員の加山興業（株）シニアマネージャー 柏原宏人氏が講師となり、①安全衛生管理の必要性 ②労働災害統計 ③労働安全衛生法の体系 ④安全のルール ⑤ハインリッヒの法則 ⑥ヒヤリ・ハットとその事例 ⑦危険予知

（KYT）のすすめ ⑧職場で実践する危険予知活動（KY）指差し呼称 ⑨作業（仕事）に関する心得について、など多数の事例を交え解説がありました。

なかでも、危険予知活動（KY）の指差し呼称は



開会の挨拶を述べる伊藤安全衛生委員長

- ①対象を見る。②呼称項目を唱え、対象物を右手の指で差す。③右手を耳元へ、本当に良いか確かめる。
- ④確認できたら「よし!」と唱え、右手を下ろす。

この一連の動作は、本人が安全な行動を意識するための重要なポイントです。最近はやや『一人指差し呼称』を推奨する傾向もあり、ぜひ現場で新入社員の方から実践して欲しいとの事でした。



講師の（株）中部クリーン
拓植代表取締役

研修Ⅱでは、安全衛生委員の（株）中部クリーン代表取締役 拓植章仁氏が講師となり、⑩整理整頓 ⑪正しい作業服装の基準と正しい保護具 ⑫事業場内の通行 ⑬5S運動（活動）⑭熱中症と対策 ⑮メンタルヘルス ⑯

危険物・有害物の取扱いについて ⑰災害時の対応と救急措置について、など現場ならではの話がありました。熱中症の事例では、同講師自身が軽度の熱中症になってしまった時の状態が語られ、熱中症は命に関わることもあるので軽んじてはいけないと注意を促しました。特に現場で新人の方は、先輩についていこうと無理をしがちになりますので、つらい時は勇気をもって「休憩をさせていただきます。」と言うことこそが、労働災害を未然に防ぐことにもつながる、とアドバイスがありました。

研修後、出席者の方に修了証が手渡され研修会は閉会となりました。